

令和3年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和4年7月

新型コロナウイルス感染症対策本部事務局  
新型コロナウイルス感染症対策推進課



## 目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 指摘事項	
	(2) 監査意見	
	(3) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	1 頁
3	職員の定員、現員調べ	1 頁
4	役付職員の調べ	1 頁
5	主な事業に関する調べ	2 頁
6	決算資料（総括表）	5 頁
7	事業別実施状況調べ	6 頁
8	予備費の充用調べ	8 頁
9	現金の取扱状況	8 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	8 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	9 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	9 頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	9 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	9 頁
15	備品の処分状況調べ	9 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
16	寄附物件の受納状況調べ	9 頁
17	備品の処分状況調べ	9 頁
18	貸付金等状況調べ	9 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	9 頁



1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 指摘事項

該当なし

(2) 監査意見

該当なし

(3) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

該当なし

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備考
	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	4.4.1 現在	3.4.1 現在	
定員	7	5	4	3			11	8	
現員	7	5	4	3			11	8	
過不足 (△)									
臨時的 任用職員									
会計年度 任用職員	1	1					1	1	

4 役付職員の調べ

(令和 4年 7月 1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
		年	月	
課長	福田 武史 (兼)	0	3	健康医療局健康政策課参事 通算：1年2カ月
課長補佐	山崎 利幸 (兼)	2	2	健康医療局健康政策課課長補佐
課長補佐	木原 久美 (兼)	2	2	健康医療局健康政策課課長補佐
課長補佐	永江 佳朗 (兼)	0	5	健康医療局健康政策課課長補佐
課長補佐	加賀田 大輔 (兼)	0	3	健康医療局健康政策課課長補佐 通算勤務期間：1年3月
課長補佐	秋本 大志 (兼)	0	3	健康医療局健康政策課課長補佐

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳										
		国庫支出金	起債	その他	一般財源							
新型コロナウイルス感染症医療環境整備等事業	11,057,402	11,051,702		(寄附金) 5,700								
将来ビジョン	3 守る 豊かな恵み・生活を守り、次代につなぐ (1) 新型コロナウイルスなどの新たな感染症に対応する体制が確立											
令和新時代創生戦略	大項目 2人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 中項目 (3) 支え愛 小項目 ③ 感染症に強い地域づくり SDGsゴール 3 すべての人に健康と福祉を											
政策項目	-											
(概要)												
ア 目的及び事業の実施状況												
(ア) 目的 新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、継続して医療提供できる体制を構築するとともに県内医療環境のさらなる充実を図る。												
(イ) 事業の実施状況 (単位：千円)												
事業名	内 容											
医療機関の設備整備に対する補助 (1,025,528) <国>	新型コロナウイルス感染症患者の入院治療を行う入院協力医療機関や疑い患者の外来診療を行う救急・周産期・小児医療機関、新型コロナウイルスの検査機関が設備整備を行う場合に補助した。(21 機関) <主な整備設備> PCR検査機器 29 台、人工呼吸器 37 台、生体情報モニタ 37 台、超音波画像診断装置 22 台、血液浄化装置 10 台、CT撮影装置 5 台、個人防護具、簡易診療室等											
入院病床確保(空床補償)事業 (9,845,506) <国>	新型コロナウイルス感染症患者を受け入れる病床を病棟単位で確保する重点医療機関及び一般の入院協力医療機関に対し、空床となる病床に応じて助成した。(18 医療機関) <空床補償病床数(延べ数)>											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	10,089	12,186	12,543	12,236	11,389	13,160	14,062	13,440	13,613	10,621	10,151	11,445
措置入院及び宿泊・自宅療養者に係る医療費自己負担分の公費負担等 (59,954) <国、県>	感染症法に基づく措置入院及び宿泊施設又は自宅での療養に係る医療費の自己負担部分を負担した。(入院医療費 598 件、宿泊・自宅療養者医療費 2,499 件) また、移送が必要な患者に対応した。											
個人防護具等の購入 (41,292) <国、県>	新型コロナウイルス感染症患者及び疑い患者に対応する医療機関が必要とする個人防護具等(N95 マスク、アイソレーションガウン、フェイスシールド、非滅菌手袋、キャップ、シューズカバー)を購入し、希望に応じて配布した。											
医療従事者等感染拡大防止対策事業 (68,068) <国>	新型コロナウイルス感染症の入院協力医療機関が医療従事者の家族への感染防止及び院内感染防止を目的として宿泊施設を確保する際に要する経費の一部を支援した。(11 医療機関)											
診療・検査医療機関支援事業 (575) <県>	発熱患者等の外来診療を行う医療機関の従事者に対する国の労災給付上乗せ補償保険加入支援事業の対象外となる事務職員等の労災給付上乗せ補償保険加入費を支援した。(4 機関)											
衛生環境研究所における検査体制整備事業 (5,115) <国、県>	衛生環境研究所で新型コロナウイルス感染症の検査実施するために必要な試薬や検査機器(自動核酸抽出装置ほか)等を購入した。											
鳥取県版コロナ追跡システム運用 (5,280) <配当替>	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、感染者が訪問した施設・店舗・イベントに同日訪問した人に対してお知らせをする LINE 版「鳥取県版コロナ追跡システム」を運用した。											

<p>対策等についての検討・協議 (637) &lt;国、県&gt;</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染対策や医療提供体制等について専門家から助言を受けるとともに、関係機関と検討・協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナ医療提供体制検討プロジェクト会議：4回開催</li> <li>・新型コロナウイルス感染症対策本部会議：90回開催</li> </ul>
<p>外国人患者等支援事業 (1,024) &lt;国、県&gt;</p>	<p>外国人の新型コロナウイルス感染症陽性者の疫学調査や療養等の際に、三者間通訳サービスや通訳・翻訳（クメール語、ブラジル語、ベトナム語等）により対応した。</p>
<p>県民への周知 (4,423) &lt;県&gt;</p>	<p>テレビ・ラジオ CM や新聞広告等により感染防止対策等を県民へ周知した。</p>

イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

国による個人防護具の調達及び配布が令和2年度で終了したが医療機関の継続要望が強かったため、県単独で調達し、各医療機関の希望を取って定期的に配布した。

ウ 成果及び効果

- ・ 医療機関に対して設備整備支援、入院病床確保（空床補償）事業、医療従事者の感染拡大防止のための宿泊施設確保支援、個人防護具等の配布等を実施した結果、入院病床数は最大350床（人口比全国3位）を確保することができ、1日最大検査能力は7,971検体/日（人口比全国2位）まで引き上がった。また、県内医療機関の対象診療科の9割以上の315機関（人口比全国1位）に発熱等の症状がある方の診療・検査を行う「診療・検査医療機関」として登録していただくことができた。
- ・ これにより、「早期検査」を行うことで感染拡大を防ぎ、全国最少の陽性者数に抑え込むことができている。また、症状の変化に対応した「早期治療」を行うことにより、県民の生命を守ることができている。

エ 課題

- ・ 今後の新型コロナウイルス感染症の新たな変異株や新たな感染症に対応するため、さらに県内医療機関との協力・連携し、医療提供体制を強化していく。

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
(新) 新型コロナウイルス感染症検査体制整備事業	796,796	515,153			281,643
将来ビジョン	3 守る 豊かな恵み・生活を守り、次代につなぐ (1) 新型コロナウイルスなどの新たな感染症に対応する体制が確立				
令和新時代創生戦略	大項目 2人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 中項目 (3) 支え愛 小項目 ③ 感染症に強い地域づくり SDGsゴール 3 すべての人に健康と福祉を				
政策項目	-				

(概要)

ア 目的及び事業の実施状況

(ア) 目的

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐため、県内の医療機関や検査機関と連携し、積極的に検査を実施した。

(イ) 事業の実施状況 (単位：千円)

事業名	内 容																								
診療・検査医療機関での行政検査（保険診療分） (173,388) <国、県>	有症者に対してかかりつけ医等の身近な医療機関（診療・検査医療機関）が行う新型コロナウイルス感染症の検査について、感染症法第15条及び第58条の規定に基づき、当該検査料の本人負担分を公費負担した。 <検査件数（延べ数）> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,572</td><td>3,112</td><td>3,471</td><td>3,033</td><td>4,432</td><td>6,329</td><td>5,605</td><td>4,546</td><td>4,276</td><td>4,130</td><td>10,312</td><td>9,061</td> </tr> </tbody> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	2,572	3,112	3,471	3,033	4,432	6,329	5,605	4,546	4,276	4,130	10,312	9,061
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月														
2,572	3,112	3,471	3,033	4,432	6,329	5,605	4,546	4,276	4,130	10,312	9,061														
保健所が実施する行政検査 (532,551) <国、県>	新型コロナウイルス感染症陽性者に対して保健所が行う積極的疫学調査によって判明した接触者等に対する行政検査について、県衛生環境研究所及び県内医療機関や検査機関への委託により、感染症法第15条の規定に基づき、実施した。 <検査件数（延べ数）> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5,955</td><td>3,598</td><td>356</td><td>6,166</td><td>9,860</td><td>3,889</td><td>578</td><td>78</td><td>94</td><td>14,459</td><td>20,417</td><td>17,999</td> </tr> </tbody> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	5,955	3,598	356	6,166	9,860	3,889	578	78	94	14,459	20,417	17,999
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月														
5,955	3,598	356	6,166	9,860	3,889	578	78	94	14,459	20,417	17,999														
妊婦に対するPCR検査支援（90,857） <国、県>	院内感染防止対策として、又は妊婦の不安解消のため、分娩前の新型コロナウイルス感染症検査の費用を支援した。 【県負担額】自院検査 15,000円/件、外部委託 19,500円/件（定額） <検査件数（延べ数）> <table border="1"> <thead> <tr> <th>4月</th><th>5月</th><th>6月</th><th>7月</th><th>8月</th><th>9月</th><th>10月</th><th>11月</th><th>12月</th><th>1月</th><th>2月</th><th>3月</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>347</td><td>350</td><td>353</td><td>369</td><td>364</td><td>332</td><td>470</td><td>464</td><td>406</td><td>458</td><td>394</td><td>527</td> </tr> </tbody> </table>	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	347	350	353	369	364	332	470	464	406	458	394	527
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月														
347	350	353	369	364	332	470	464	406	458	394	527														

イ 令和3年度の事業実施に当たり改善等に取り組んだ点

- ・ 妊婦に対するPCR検査支援について、1回目の検査から2週間以上経過し、医師がより安心な出産環境を提供するために必要と判断した場合、2回目の検査も支援対象に拡充した。

ウ 成果及び効果

- ・ 「診療・検査医療機関」において有症者に対して行う検査について、検査費用（本人負担分）を公費負担し、積極的に検査を行っていただくとともに、積極的疫学調査での検査について、県内医療機関や検査機関へ委託し実施することで、検査件数の急増にも対応し、「早期検査」を実施することで、感染拡大を防ぎ、全国最少の陽性者数に抑え込むことができています。

エ 課題

- ・ 新たな変異株の県内での発生を早期に探知し、感染拡大を防ぐため、ゲノム解析や変異株スクリーニング検査による監視及び変異株事例に対する積極的疫学調査や検査を徹底する。

6 決算資料  
一般会計(歳入)

(単位:円)

区分	科目	予算額			現額		調定額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額	計	継続費及び繰越事業費繰越財源充当額					
歳入	衛生費国庫負担金	348,914,000	146,924,000	0	495,838,000	517,112,000	517,112,000	0	0	0	
	衛生費国庫補助金	9,519,733,000	3,832,303,000	160,076,000	13,512,112,000	(71,663,000)	(71,663,000)	0	0	0	
	衛生費寄附金	0	10,000,000	0	10,000,000	13,184,145	13,184,145	0	0	0	
	繰越金	0	0	(17,984,160)	(17,984,160)	(17,984,160)	(17,984,160)	0	0	0	
	雑入	0	0	17,984,160	17,984,160	17,984,160	17,984,160	0	0	0	
	合計	9,868,647,000	3,989,227,000	178,060,160	14,035,934,160	(89,647,160)	(89,647,160)	0	0	0	

一般会計(歳出)

(単位:円)

区分	科目	予算額			現額		支出済額 (決算額) B	支出済額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	備考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	計 A	予備費 支出及び 流用増減		本庁	出納機関			
歳出	予防費	10,243,347,000	4,045,140,000	(178,060,160)	14,466,547,160	(89,560,095)	(89,560,095)	(82,092,757)	(7,467,338)	0	(88,500,065)	
	合計	10,243,347,000	4,045,140,000	(178,060,160)	14,466,547,160	12,106,337,473	12,106,337,473	12,098,116,039	8,221,434	0	2,360,209,687	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円、%)

事業名	予			算			計 A	支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・成果 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び繰越事業費繰越額	予備費支出及び流用増減	繰越額	繰越額						
(予防費) 新型コロナウイルス感染症医療環境整備等事業	(0) 9,515,049,000	(0) 3,488,499,000	(0) 178,060,160	(0) △ 33,847,716	(0) 178,060,160	(0) 13,147,760,444	(178,060,160) 11,146,961,869	(89,560,095) 2,000,798,575	(0)		85%	△33,847,716円 新型コロナウイルス感染症検査体制整備事業へ流用
主な事業に関する調べのとおり												
【不用額の理由】入院協力医療機関等に対する補助（入院病床確保（空床補償）、設備整備、感染拡大防止のための医療従事者等の宿泊施設確保経費）及び医療機関等への配布用個人防護具購入について、見込みより執行額が少なかったため。												
新型コロナウイルス感染症戦略的サーベイランス実施事業	11,747,000	0	0	0	11,747,000	11,104,677	0	642,323			95%	
感染状況に関するデータを集計し、県民や医療機関に分かりやすく情報提供するためのシステムを令和4年1月から運用開始した。また、ウイルスのゲノム解析により、個別事例における感染経路の分析を行い、積極的疫学調査に役立てた。												
新型コロナウイルス感染症検査体制整備事業	716,551,000	182,979,000	0	33,913,774	933,443,774	796,796,181	0	136,647,593			85%	33,847,716円 新型コロナウイルス感染症医療環境整備等事業から、66,068円 臨時の医療施設運営事業から流用
主な事業に関する調べのとおり												
【不用額の理由】保健所が医療機関や検査機関への委託して行う接触者等への行政検査が、見込みよりも少なかったため。												
新型コロナウイルス感染症変異株検査体制強化事業	0	39,000,000	0		39,000,000	14,597,550	0	24,402,450			37%	
県衛生環境研究所においてゲノム解析を実施するとともに、変異株スクリーニング検査を県内の民間検査機関に委託し、県内の変異株サーベイランスを行った。												
【不用額の理由】県内民間検査機関への変異株スクリーニング検査実施業務委託件数が見込みよりも少なかったため。												
新型コロナウイルス感染症特定変異株対策事業	0	50,000,000	0	11,000	50,011,000	40,933,311	0	9,077,689			82%	11,000円 臨時の医療施設運営事業から流用
新型コロナウイルス感染症の新たな株（デルタ株、オミクロン株）に対して、株の特性を踏まえ、早期かつ確実に感染連鎖を封じ込めるため、検査体制強化や小児に対する感染防止対策など必要な対策を機動的に講じた。												
【不用額の理由】見込みよりも実施する対策に必要な経費が少なかったため。												

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行率 B/A	事業計画と実績・成 果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減 計 A					
新型コロナウイルスセンター 運営事業	0	70,000,000	0	70,000,000	39,600,000	0	30,400,000	57%	
新型コロナウイルス感染症陽性者に対して医療機関がメディカルチェックを実施し、病状を評価した上で、保健所が入院・療養先を決定することができるよう、圏域ごとに「メディカル チェックセンター」設置した。									
【不用額の理由】第5波での稼働実績を踏まえて積算していたが、第6波ではオミクロン株感染の特徴を踏まえ、在宅療養及び宿泊療養の健康サポート体制を強化することにより、重症化 リスクのない軽症者や無症者はメディカルチェックセンターを介さず自宅療養等に調整したため、実績が想定より少なかったもの。									
臨時の医療施設運営 事業	0	207,158,000	0	207,080,942	52,254,085	0	154,826,857	25%	△11,000円 新型コロナウイルス イリス感染症特定変異株対 策事業へ、△66,058円 新 型コロナウイルス感染症検 査体制整備事業へ流用
東部地区と中部地区に「臨時の医療施設」を設置し、東部地区では宿泊療養施設の入所者への診察・健康観察、中部地区ではこれに加えて有床の医療施設として入院患者を受け入れるな ど、陽性者の急増に対応するため、医療提供体制を強化した。									
【不用額の理由】管轄保健所と協議しながら圏域ごとに運営方法を検討した結果、施設の開設までに時間を要したこと等もあり、当初の予定よりも執行額が減少したため。									
新型コロナ小児検査 体制・後遺症医療体 制等強化事業	0	7,504,000	0	7,504,000	4,089,800	0	3,414,200	55%	
小児の検査体制や後遺症外来体制の強化及び発熱等症状のある方や後遺症を患っている方への早期受診・相談につなげるための県民への周知を行った。									
【不用額の理由】小児科医の任用及び小児用検査キット整備について、見込みよりも実施が少なかったため。後遺症外来医療機関への研修会を外委委託ではなく県直営でオンライン開催とし たため。									
目 計	10,243,347,000	4,045,140,000	(178,060,160)	(178,060,160)	(89,560,095)	0	(88,500,065)	84%	
合 計	10,243,347,000	4,045,140,000	(178,060,160)	(178,060,160)	12,106,337,473	0	(88,500,065)	84%	

- 8 予備費の充用調べ 該当なし
- 9 現金の取扱状況
- (1) 現金取扱状況 該当なし
- (2) つり銭の状況 該当なし
- 10 財産に関する調べ
- (1) 公有財産
- ア 土地 該当なし
- イ 建物 該当なし
- ウ 山林 該当なし
- オ 財産の交換 該当なし
- カ 動産(船舶、浮標、浮棧橋、浮ドック、航空機) 該当なし
- キ 物権 該当なし
- ク 無体財産権(特許権、著作権、商標権、実用新案権等) 該当なし
- ケ 有価証券 該当なし
- コ 出資による権利 該当なし

(2) 金券類の保有状況

ア 金券の保有状況

有 ・ 無

イ タクシーチケットの保有状況

(令和 4年 3月 31日現在)

前年度末未使用枚数	本年度中		本年度末未使用枚数
	購入枚数	使用枚数及び金額	
0枚	0枚	枚 円	0枚

- (3) 基金 該当なし
- (4) 債権 該当なし

- 1 1 財産の貸付け及び使用許可調べ 該当なし
- 1 2 借受不動産明細調べ 該当なし
- 1 3 職員駐車場の管理状況調べ 該当なし
- 1 4 寄附物件の受納状況調べ 該当なし
- 1 5 備品の処分状況調べ 該当なし
- 1 6 貸付金等状況調べ 該当なし

○ 意見、要望等

(1) 業務に関する意見・要望等

特になし

(2) 監査委員事務局に対する要望等

特になし